

株主の皆様とテクマトリックスを  
つなぐIRマガジン「テクマティズム」

TechM@trix

証券コード **3762**

## 第37期報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

テクマトリックス株式会社

# TECHMATISM



テクマトリックスは、ITのスペシャリスト集団として、最新のIT技術を活用し、企業のビジネスモデル変革と企業競争力の強化をサポートしています。

最先端の情報基盤技術のインテグレーションを提供する「**情報基盤事業**」と、顧客の抱える問題領域における実践的なノウハウを実装したアプリケーションの提供を行う「**アプリケーション・サービス事業**」の2事業によって成り立っています。

### TechMatrix

#### アプリケーション・サービス事業

- クラウド型医療用画像管理システムやPHR(Personal Health Record)サービスの提供
- コンタクトセンター向けの顧客管理システムの提供
- IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの提供
- インターネットサービス、金融分野でのソリューション提供
- IT技術者の教育事業を展開
- 教育機関へのコミュニケーション・プラットフォーム兼校務支援システムの提供



#### 情報基盤事業

- 最先端のサイバーセキュリティ対策製品・ストレージ製品の提供
- お客様の安全な情報基盤構築のために、設計・構築・保守に加え、24時間365日の運用監視サービスの提供



#### 身近なところで縁の下のチカラ持ち



情報セキュリティクラウドサービスを安全・快適に



コンタクトセンター業務をよりスムーズに



医用画像管理を容易に安全に



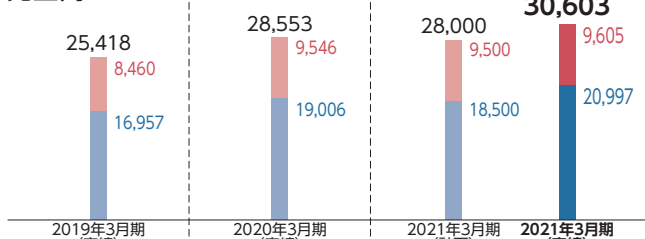
交通機関の制御の安全性向上

# Achieving Goals

前中期経営計画「GO BEYOND 3.0」の振り返り

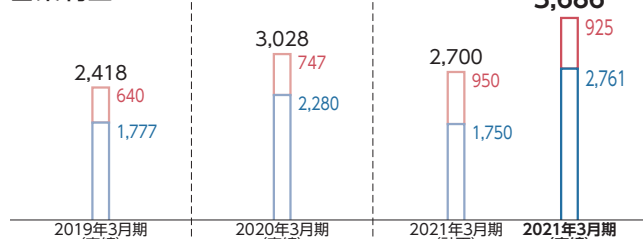
■ 中期経営計画の計画値と実績(百万円) ■ 情報基盤事業 ■ アプリケーション・サービス事業

売上高



※新収益認識基準に基づく実績

営業利益



※新収益認識基準に基づく実績

■ 事業戦略



クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進



セキュリティ&セーフティ(安心と安全)の追求

■ 新規事業創出に向けた取り組み

事業戦略	自己評価	取り組み
1 事業運営体制の多様化	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療システム事業部を分社化し、三井物産と合弁で株式会社NOBORIを設立</li> <li>株式会社A-Line等の複数の企業との業務提携や出資を実施</li> <li>ビジネスソリューション分野において、山崎情報設計株式会社と資本・業務提携</li> <li>新規事業開発において、学校法人軽井沢風越学園と共同で教育機関向けコミュニケーション・プラットフォームを開発</li> </ul>
2 サービス化の加速	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合セキュリティ監視サービス「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」をリリース</li> <li>リリース後もサイバー保険付帯やインシデント対応等のサービスの高度化を実施</li> </ul>
3 データの利活用	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業開発及びデータ利活用、AI等の研究を推進するための新規事業開発室を新設</li> <li>AIによる医用画像診断支援システムの共同開発を複数のAIベンチャー・医療機関と進行中</li> <li>ソフトウェア品質保証分野において、機械学習システムの品質評価に関する研究開発を進行中</li> <li>CRM分野において、自社CRMシステムと各種AIソリューションの連携が進展(音声認識・自動要約、分類等)</li> </ul>
4 BtoCへの参入	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社NOBORIにおいて、複数病院と実証実験を経て個人向け(患者向け)のPHR(Personal Health Record)サービスの提供を開始</li> </ul>
5 海外市場での事業を加速	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>ASEANにおけるCRM事業拡大のため、タイ・バンコクに駐在員事務所を新設</li> </ul>
6 事業運営基盤の強化	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事制度社員の積極的なキャリアアップを支援するための「キャリアデザイン制度」、社員が能力・経験をより良い形で発揮できる場を主体的に切り拓くことができる環境を提供するための「キャリアチャレンジ制度」を導入</li> <li>情報基盤事業において、クラウド・ネイティブ関連技術の強化に向け、株式会社カサレアルとタイアップ</li> </ul>
7 M&A	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来のM&amp;Aに向けた資金調達を目的に、2018年に発行した第三者割当による新株予約権の行使が完了(総額にして約43億円の資金調達)</li> </ul>



**新中期経営計画  
「BEYOND THE NEW NORMAL」が始動。  
持続可能な社会の創造に向け、社会課題を  
解決するためのサービスを提供します。**

代表取締役社長 **由利 孝**

## 当期(2021年3月期)を振り返って

新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがかからず、国内経済は先行きが不透明な状況が続いています。このような環境の中、当社グループは、在宅勤務を積極的に活用する等、全てのステークホルダーの安全と健康に配慮しながら、取引先企業への安定的な製品・サービスの提供、サポート体制の維持を実現しています。社会全体では、テレワークやオンライン診療、オンライン授業等のデジタル化が急速に進み、それに伴いデジタル社会の安全性を支えるサイバー・セキュリティ対策の重要性が一層高まっています。

こうした中、最終年度を迎えた中期経営計画「GO BEYOND 3.0」の中核的事業戦略である、クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進と、セキュリティ&セイフティ(安全と安心)の追求に引き続き取り組んだ結果、情

報基盤事業とアプリケーション・サービス事業ともに過去最高の経営成績となりました。収益が将来に繰り延べられる新収益認識基準を適用した上でこのような経営成績となったことは期待以上の成果です。

情報基盤事業では、在宅勤務等が急速に広がったことを背景に、リモートアクセスを実現するためのセキュリティ対策製品やクラウド型セキュリティ対策製品の需要が大幅に増加したことが業績を牽引しました。アプリケーション・サービス事業は、医療分野やCRM分野といった好調な分野がある一方、新型コロナウイルス感染拡大により、顧客企業の意思決定の遅れの影響を受けた分野もありました。

## 新中期経営計画

### 「BEYOND THE NEW NORMAL」について

2019年3月期から3年間に渡って取り組んだ前中期経営計画「GO BEYOND 3.0」は、最終年度の収益目標を1

# 決算ハイライト

## 当期業績のポイント

- 2021年3月期から新収益認識基準を適用するも、順調に受注が積み上がり売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の全ての指標において6期連続で過去最高を更新。売上高は19期連続で増収。
- 配当金は当期業績の利益水準をふまえ、中間配当7円と期末配当12円を合わせ1株当たり19円(実質4円増配(株式分割前の基準では8円増配))を実施。

※2020年7月に普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しています。

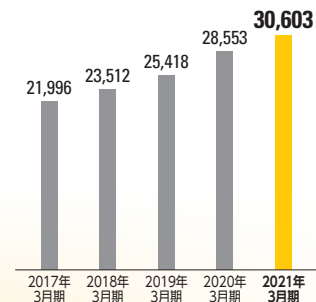
より詳細な財務情報は <https://www.techmatrix.co.jp/ir/library/>

テクマト IR

検索



## 売上高(百万円)



※2020年3月期以前は従来の会計基準、2021年3月期は新収益認識基準を適用した実績です。

年前倒しで超過達成し、当初掲げた目標を順調に上回る結果となりました。当社のコア事業である情報基盤事業でサービス化の加速を図りながら、アプリケーション・サービス事業では、医療分野のBtoCビジネスへの参入やAIを利用したデータの利活用、新規事業として教育事業の立ち上げなど、事業戦略を着実に進めました。

新中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」では、前中期経営計画の中核的事業戦略を継続しつつ、デジタル化への急激なシフトと産業構造の劇的な変化を新たな成長機会と捉え、社会課題を解決するためのサービスの提供を通して持続可能な社会の創造に貢献することを目指します。新型コロナウイルスの感染拡大を機に私たちの暮らしは「ニューノーマル」と呼ばれる新しい様式へと変わりつつあります。新中期経営計画ではニューノーマルの先に来る新しい社会を見据えてSDGsの観点を取り入れ、社会にとって必要不可欠な領域に向けた事業を加速します。情報基盤事業では、取扱製品・サービスの拡

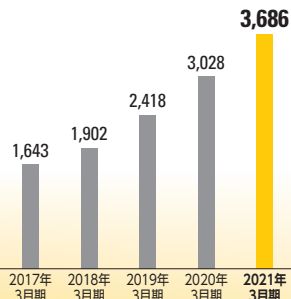
大やストック型ビジネスの強化等に取り組み、アプリケーション・サービス事業では、連結子会社NOBORIが展開している医療分野や、新規事業である教育事業といった、特にSDGsの目標と合致する領域にも注力します。最終年度である2024年3月期に連結売上高400億円、連結営業利益50億円を達成することを目指します。

## 2022年3月期の事業計画

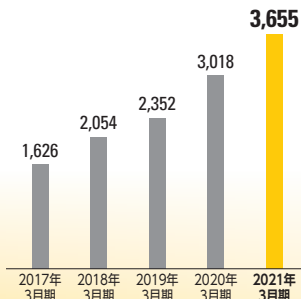
情報基盤事業では、引き続きグループ間で連携しながら社会インフラとしてニーズの高いサイバー・セキュリティ対策製品を提供し、統合セキュリティ監視サービス「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY(TPS)」の拡販を目指します。アプリケーション・サービス事業では、医療分野の個人向けのPHR(Personal Health Record)サービスの拡大やAI医療画像診断支援サービス事業の加速、CRM分野のグ

### 決算ハイライト

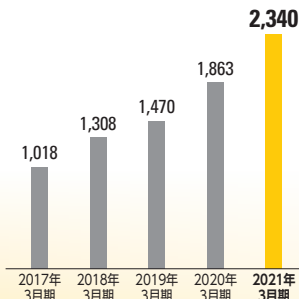
#### 営業利益 (百万円)



#### 経常利益 (百万円)



#### 親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)



#### 1株当たり配当金 (円) 配当性向の推移 (%)



※2020年3月期以前は従来の会計基準、2021年3月期は新収益認識基準を適用した実績です。

※2020年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。それに伴い、1株当たり配当金は過年度に遡及し調整しています。

ローバル展開の加速、教育機関向けのクラウドサービス「ツムギノ」の垂直立ち上げを目指します。

「ツムギノ」は、新しい学習指導要領において重視されている主体的・対話的で深い学びを実現するスクール・コミュニケーション・プラットフォーム兼校務支援システムとして、学校法人軽井沢風越学園と共同開発した「typhoon」をベースに商用化したものです。すでに先進的な教育機関への導入実績があり、高い評価をいただいています。SDGsにも貢献できる独自性の高い教育関連サービスとして、今後の事業の柱として育てたいと考えています。

2022年3月期の業績については、新規事業である教育事業やCRM分野のASEAN市場での事業展開加速のための積極投資等により、増収・微増益となると予想しています。

#### 株主の皆様へ

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要課題と位

置付けており、利益配分に関しては、配当性向20%以上を基本方針としております。2021年3月期の年間配当金は中間配当7円と期末配当12円を合わせ、1株当たり19円とさせていただきます。当社は2020年7月に普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、年間配当金は、実質、前期比4円の増配(前期基準では8円の増配)となります。

新型コロナウイルスの感染拡大という大きな試練に人類が直面する中、社会はデジタル化に向けてますます加速しています。あらゆるサービスが厳しくふるいにかげられ、社会から真に必要なとされるものだけが生き残る時代が到来しつつあります。「BEYOND THE NEW NORMAL」に掲げた戦略の遂行に全力を尽くし、社会にとって必要不可欠な領域で、社会の持続的な発展に貢献できる企業集団でありたいと思います。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

テクマトリックスグループは、新中期経営計画「BEYOND THE NEW NORMAL」を策定しました。デジタル化への急激なシフトと産業構造の劇的な変化を新たな成長機会と捉え、社会にとって必要不可欠な領域に向けた事業を加速し社会課題を解決するためのサービスの提供を通して持続可能な社会の創造に貢献します。

- デジタル化を支える情報基盤・技術・サービスの提供
- 最善の手法である「Best Practice」を誰にも使いやすいUXを通してクラウド型で提供

## 持続可能な社会の創造に向けたサービス価値の提供



### 持続可能な社会の創造



製造業・金融・  
医療・流通・・・

### DX



Best Practice

### 業務アプリケーション



「ネットワーク」「セキュリティ」  
「AI」「ビッグデータ」  
「クラウド」・・・

### ITプラットフォーム

## TechMatrix

誰にも使いやすいUXで  
「クラウド型業務  
アプリケーション」  
を提供

内製化を推進するための  
「各種開発支援ツール」  
を提供

社会インフラとして  
安心・安全を確保する  
「セキュリティソリューション」  
を提供

## BEYOND THE NEW NORMALの基本戦略



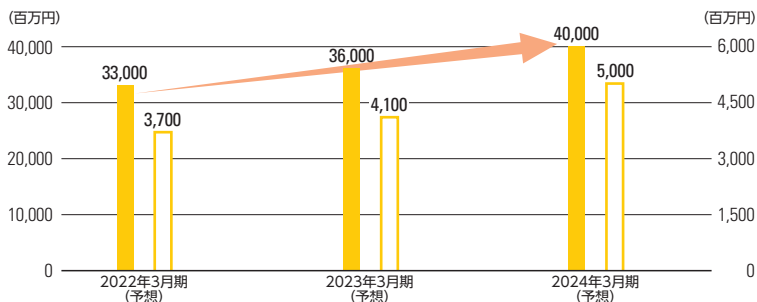
- TMX 3.0 の事業戦略は引き続き継続
- クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進
  - セキュリティ&セイフティ(安心と安全)の追求

		テーマ
コンテンツ 戦略	1	取扱製品の拡大・新規サービスの立ち上げ
	2	サービス化の加速(サービス比率拡大)
	3	データの利活用(AIの利用を含む)
外部 戦略	4	多様なアライアンス・M&A (既存事業の拡大と新規事業の創出)
	5	海外市場での事業の拡大
内部 戦略	6	グループ関連携の強化によるシナジーの創出
	7	人材育成/組織開発(ダイバーシティの推進含む)

## 計画値

■ 売上高

□ 営業利益



		2021年3月期実績 (第37期)	2024年3月期計画 (第40期)	
売上高	全体	306億円	400億円	131%
	情報基盤事業	210億円	280億円	133%
	アプリケーション サービス事業	96億円	120億円	125%
営業利益	全体	36.8億円	50億円	136%
	情報基盤事業	27.6億円	36億円	130%
	アプリケーション サービス事業	9.2億円	14億円	152%

### セキュリティ分野

セキュリティインシデント発生時に  
 専門家が初動対応・復旧調査・支援

## インシデント対応サービス

標的型攻撃をはじめとするサイバー攻撃やマルウェアへの感染、情報漏洩といったインシデントが発生した際の初動対応から事態の終息までを支援する「インシデント対応サービス」の提供を2021年3月に開始しました。本サービスは、2019年から提供を開始した統合セキュリティ監視サービス「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」（通称：TPS）の拡充サービスとなります。

サイバー攻撃は多様化し、日々新たな攻撃手法が発見されており、インシデントが発生した際には専門家による調査と対応が欠かせません。

本サービスでは、当社が運営するセキュリティ監視センターやセキュリティ研究所に所属する専門家でチームを構成し、従来のインシデント発生直後の初動対応に加えて調査・復旧などを行います。インシデントが大規模で調査が広範囲に及ぶ場合も、当社のセキュリティアナリストとパートナー企業が連携して迅速に事態の終息へと導き、従来の初動対応・調査にとどまらない支援を実現します。

TPSは統合セキュリティ監視サービスとして提供を開始して以来、インシデント対応やサイバー保険自動付帯といったサービスを拡充してきました。今後もサービスの高度化に努め、より多くのお客様に満足いただけるサービスの開発に取り組んでまいります。



セキュリティインシデントは、発生の抑止に加え、原因究明と対応を迅速に図ることが重要です。テクマトリックスセキュリティ監視センター及びテクマトリックスセキュリティ研究所に所属する専門家により構成されたチームが事故発生直後の初動対応から侵害調査、事態の終息までをご支援します。

### サービス提供フローと概要

1 受付・ヒアリング

2 トリアージ

3 調査計画

4 フォレンジック

5 報告

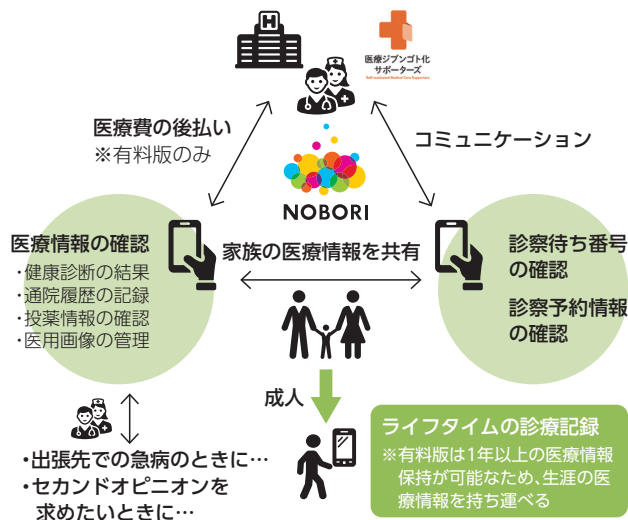


医療分野

医療情報共有アプリ

## PHR(Personal Health Record) サービス

連結子会社NOBORIが、PHR(Personal Health Record)サービスの提供を2020年5月に開始しました。本サービスは、医療機関に保存されているCTやMRIなどの医用画像、カルテ、処方箋といった医療情報をご自身のスマートフォンから参照することができるサービスです。生涯にわたって医療情報をご自身で保持することが可能になり、家族間での医療情報の共有や医師とのコミュニケーションに活用いただけます。今後も、持続可能な医療環境づくりに貢献してまいります。



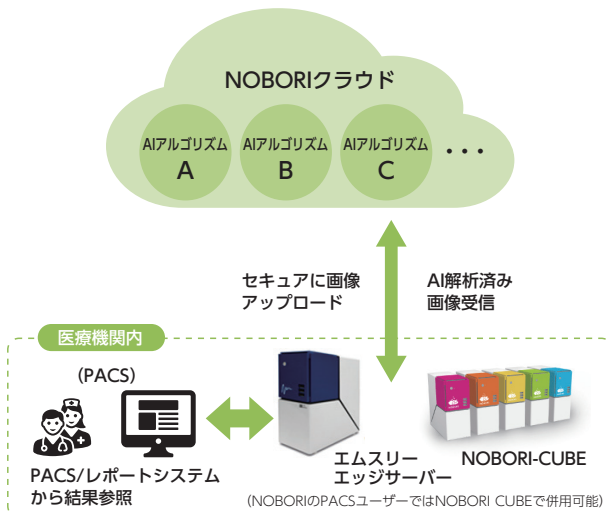
医療分野

医用画像診断を支援

## AIプラットフォーム事業

AIによる診療現場支援を浸透・加速させることを目的として、連結子会社NOBORIが2020年5月にエムスリー株式会社と業務提携し、AIプラットフォーム事業を開始しました。本事業は、医用画像診断を支援するAIを当社のクラウド基盤を通じて医師が利用できる仕組みです。頭部や肺などの部位ごとに複数のAIアルゴリズムを利用可能であり、今後もラインナップの拡充を予定しています。

今後も安心・安全な医療活動の支援を継続するとともに、効率的な医療の実現に貢献してまいります。



### 新規事業開発分野

コミュニケーション・プラットフォーム+校務支援システム

## typhoon / ツムギノ

子ども、保護者、教員に加え学外の関係者をも含む4者をつなぐコミュニケーション・プラットフォームと校務支援システムの機能を併せ持つ「typhoon」を学校法人軽井沢風越学園と共同で開発し、同学園に導入しました。

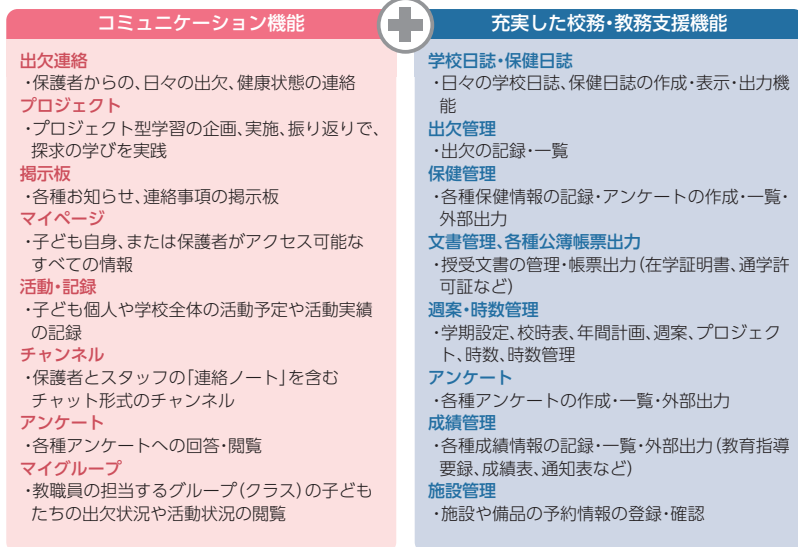
GIGAスクール構想により、子ども一人につき一台ずつのデジタルデバイスが導入される時代に突入しました。デジタルデバイスの有効活用や、より主体的・対話的で深い学びが求められるようになるなど、教育環境や学校運営のあり方が変化しています。

こうした中、子どもを中心に考えたシステムを独自に設計～開発しました。具体的には、子どもたちは、学園生活における日々の学習やイベントの振り返りを自らシステムに記録して可視化し、保護者や学校関係者とのコミュニケーションを通じて、自分自身の学びをデザインすることができます。出欠管理や学校日誌の作成などができる校務支援機能も備わっており、教職員向けの働き方改革もサポートします。

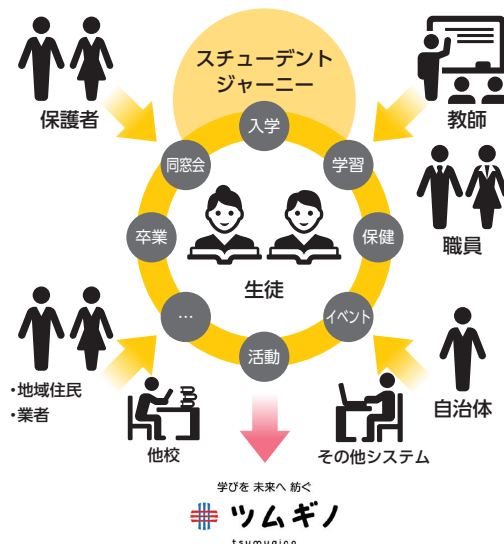
また、2021年4月からは、「typhoon」システムをベースに商用化したクラウドサービス「ツムギノ」の提供を開始しました。「学びを未来へ紡ぐ」と「Innovation」をかけ、ツムギノ(tsumugino)と名付けました。新しい学びを未来に向けてカタチ作りながら、新たなものを創造し、教育業界に革新と新たな価値を生み出したいという思いを込めています。

子ども一人一人の未来への可能性を広げるべく、今後、教育機関への導入拡大を目指してまいります。

### 地域住民や保護者、教職員、他校・民間企業とのコミュニケーション機能が充実



### typhoon コンセプトモデル



# 株主優待のご紹介

当社は、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、株主優待をご提供しています。

昨年度のお申込みは90.2%と、多くの株主様にご好評をいただいております。今後も継続して実施を予定しています。

対象	優待内容	
毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様	500株以上	1,500円相当の商品または寄付
	1,000株以上	4,000円相当の商品または寄付

## 2021年度優待品

### 500株以上保有する株主様(1,500円相当)



北海道 鮭三昧



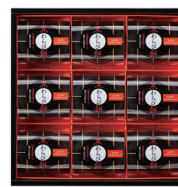
帝国ホテル  
カレーセット



お茶漬け・有明海産  
味付海苔詰合せ  
「和の宴」



讃岐うどん



ひととえ  
黒わらび餅

### 1,000株以上保有する株主様(4,000円相当)



松阪牛  
すき焼用



伊藤ハム  
ハム詰合わせ



デミグラス  
ハンバーグ



いくら醤油漬け



京都北川半兵衛  
お抹茶アイスセット

※写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

## ■ 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社  
(英語名: TECHMATRIX CORPORATION)  
設立 1984年8月30日  
上場 2005年2月18日  
証券コード 3762  
資本金 12億9,812万円  
従業員数 1,152名(連結)

## ■ 役員の状況 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長	由利 孝
取締役上席執行役員	依田 佳久
取締役上席執行役員	矢井 隆晴
取締役執行役員	鈴木 猛司
社外取締役	安武 弘晃
社外取締役	海部 美知
社外取締役	堀江 愛利
社外取締役(常勤監査等委員)	佐々木英之
社外取締役(監査等委員)	高山 健
社外取締役(監査等委員)	三浦 亮太
社外取締役(監査等委員)	杉原 章郎

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	165,888,000株
発行済株式の総数	44,518,400株
株主数	10,904名

## PICK UP

### テレビ番組「賢者の選択 FUSION」に 代表取締役社長 由利孝が出演しました



アーカイブ  
配信動画は  
こちらから



代表取締役社長の由利がナビゲーターの蟹瀬誠一氏との対談を中心に当社グループの事業内容、昨今のネットワークセキュリティ事情、今後の展開などを紹介しています。

当社グループの中核事業である情報基盤事業では独自開発した統合セキュリティ監視サービス「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」を、アプリケーション・サービス事業では医療分野のPHR(Personal Health Record) サービスと新規事業開発分野のスクール・コミュニケーション・プラットフォーム「ツムギノ」のベースとなった「typhoon」を取り上げています。

また、従業員の力を活かす取組として朝会、ファミリーデー、未来プロジェクトも紹介しています。

番組公式サイトにてアーカイブ配信されていますので、ぜひご覧ください。(URL [https://kenja.jp/11670\\_20210330/](https://kenja.jp/11670_20210330/))

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 基準日	毎年6月 定時株主総会 3月31日 配当金 9月30日 3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	株主優待 9月30日 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による事ができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL <https://www.techmatrix.co.jp/>



テクマトリックス株式会社 証券コード: 3762

〒108-8588 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル  
TEL: 03(4405)7800(代表) FAX: 03(6436)3500

